

製品名: ポドプラニンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21194**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:17kD;Observed MW:36kD

抗原情報

遺伝子名	PDPN
別名	Podoplanin;Aggrus;Glycoprotein 36;Gp36;PA2.26 antigen;T1-alpha;T1A;
遺伝子 ID	10630.0
SwissProt ID	Q86YL7
免疫原	ヒトポドプラニン/gp36 の組み換えタンパク質

背景

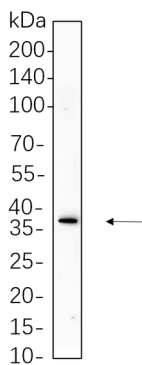
細胞局在: 膜、細胞質。この遺伝子は、ヒト組織において多様な分布を示す I 型膜貫通型糖タンパク質をコードしている。このタンパク質の生理学的機能は、ムチン型の性質に関連している可能性がある。他の種における相同タンパク質は、分化抗原およびインフル

エンザウイルス受容体として報告されている。このタンパク質の具体的な機能は未だ解明されていないが、肺損傷のマーカ―として提案されている。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



マウス脳細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、膜をポドプラニンウサギモノクローナル抗体(1:1000)でプロットした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。